

# 豊平区ニュースレター

令和2年9月9日

豊平区幼保小連携推進協議会便り

令和2年度第1号

発行 代表者会



## 第1回代表者会を行いました

令和2年度のスタートは、未曾有の事態に各校・園では、子どもたちのため、様々に新しい生活様式について工夫を重ねてこられたことと思います。

年2回の協議会は残念ながら中止となりましたが、8月17日、第1回代表者会を開催しました。コロナ禍においても子どもたちの学びをより滑らかにつなぐために、各地域で何らかの連携を図っていくことの大切さが話し合われました。

そこで令和2年度は…

## コロナ禍でも、できる範囲で連携を！

例えば…

- ・近隣の幼保小で必要に応じて連絡を取り合い、情報交換をする。
- ・児童期の学びを知るため、感染症対策を講じて、幼保認の先生が小学校の参観をする。
- ・1月の『幼保小連絡会』後、直接園を訪問して引継ぎする場合、幼児期の終わりころの年長児の様子も参観する。 など…

そこで**お願い**

### 小学校へのお願い

・11月～12月ころで参観可能な日がある場合、別紙 **FAX 送信票**にてお知らせください。

\*9月18日ころまでにかっこう幼稚園へ送信してください。

今後は…

### ニュースレター第2号の発行

\*特別な1年を過ごした『今年度の年長児の育ちの特色』を小学校へ情報提供

\*幼保認の先生が小学校訪問した際のワークシートをまとめ、児童期の学びについて共有する

\*小学校は、次年度のスタートカリキュラム実施の際、これらを参考にする

## 令和2年度代表者紹介

よろしく  
お願いします！

札幌市立月寒東小学校	校長	佐藤 達也
ふくずみ幼稚園	園長	大川 秀明
平岸興正保育園	園長	中越 亜貴乃
札幌愛隣館保育園	園長	船越谷真理子
豊平区保育・子育て支援センター	所長	小笠原 純子
札幌市立かっこう幼稚園	園長	松本 美和

<豊平区のテーマ>

3年継続2年目

幼児期の育ちを小学校でさらに伸ばそう

### 幼保認は…

・後日配信する『小学校参観可能日一覧』を参考に、訪問可能であれば、対象校に連絡をし感染症対策を講じて訪問してください。

### お願い

- ・小学校を訪問した場合、ワークシート(後日送付)にて感想をお寄せください。
- ・後日送付します『今年度の年長児の育ちの特色』についてのアンケートにご協力ください。

## お知らせ

幼保小連絡会 令和3年1月18日(月)

会場:月寒公民館体育室

\*協議会はなく、幼児の引継ぎのみです。

\*スリッパの貸出がありませんのでご注意ください。

\*詳細は幼児教育センターより文書が発出されますのでご確認ください。



# 『コロナ禍を過ごした年長児の育ち』

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける中、年長児として園生活を過ごした子どもたちの学びについて、その特徴的な姿を豊平区バージョンでまとめました。よりスムーズな小学校生活のスタートのためにご活用ください。

○育ちを感じる姿 △課題から改善されてきた姿 ▲課題と感ずること 多くの園で見られた姿

<p><b>知識や技能の基礎の面から</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣</li> <li>・言葉の理解</li> <li>・様々な技能の基礎の獲得</li> <li>・身体感覚</li> <li>・気付きや発見の喜び</li> <li>など</li> </ul>	<p><b>思考力、判断力、表現力等の基礎の面から</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤、工夫</li> <li>・他児の考えに触れ、新しい考えを生み出す楽しさ</li> <li>・表現する喜び</li> <li>・言葉による伝え合い</li> <li>など</li> </ul>	<p><b>学びに向かう力、人間性等の面から</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやり、安定した情緒</li> <li>・好奇心、探求心</li> <li>・相手の気持ちの受容、折り合い</li> <li>・自然現象や社会現象への関心</li> <li>・友達との協力</li> <li>など</li> </ul>
<p>【特にコロナの影響と思われること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい生活様式(手洗い、ソーシャルディスタンス、咳エチケットなど)が身につけてきている。<u>特に手洗いは進んで行くようになった。</u></li> <li>○「飛沫」も理解しつつあり、言葉がけによって食事中の会話に気を付けようとする。</li> <li>○マスクの管理を自分でできるようになった。衛生面から見ると課題も残る。</li> <li>○ニュース番組や大人の会話から、<u>幼児なりにコロナウイルスの怖さも感じとっている。</u></li> <li>○絵本の読み聞かせは、少人数、距離など留意しながらも継続した。</li> <li>○家で過ごす時間が増えた分、制作や折り紙などの経験が多く、手先が器用になった。</li> <li>○家庭や公園などで縄跳びや鉄棒に取り組む機会が増え、例年よりも上達した子が多い。</li> </ul>	<p>【特にコロナの影響と思われること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○行事を例年通り実施できない中でも、形を変えて<u>幼児自身が考え工夫して取り組む経験ができた。</u></li> <li>○行事が減った分幼児同士の継続した遊びが充実し、<u>試行錯誤したり友達と協力したりしながら遊びを進める経験が多くなった。</u></li> <li>△しばらくは友達との関りが薄かったが、<u>日々の生活を通し、関係の深まりが見られる。</u></li> <li>△マスクをしていて互いの表情が分からずコミュニケーションが難しい時期もあったが、言葉で補うようになってきた。</li> <li>△思いの伝え方が一方的な面も見られるが、共通の目的をもつ行事等を通して、相手の思いも考える経験を重ねてきた。</li> <li>▲行事を通して経験する、他児の考えに触れ新しい考えを生み出す楽しさなどを味わうことが少なく、</li> </ul>	<p>【特にコロナの影響と思われること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナの影響でできなかったことよりも、新しい取組を楽しもうとするたくましさや前向きさが感じられる。</li> <li>○ゆったりと生活でき、年長児同士の信頼関係や仲間意識が深まった。</li> <li>○日々の生活の中で、以前より「ありがとう」や「うれしい」を表現する様子が増えた。</li> <li>○社会のニュースへの関心が高まっている。また、大人より柔軟性があり、新しい生活様式を受け入れている。</li> <li>△しばらくは年長児としての自覚が希薄だったが、<u>徐々に高まってきた。</u></li> <li>▲「失敗したくない」「難しそう」など、挑戦に消極的な様子が見られる。</li> <li>▲気持ちの不安定さから、互いに指摘し合う姿が</li> </ul>

<p>○自分の身体に関心をもち、大切にしようとする意識が高まった。</p> <p>○<u>例年より遠くの公園に行ったり毎日戸外遊びをするようになったりし、体力がついた。また、自然に多く触れ、気付きや発見が多かった。道路標識などを一緒に確認する機会にもなった。</u></p> <p>△新しい生活様式により、初めは積極性に欠ける面もあったが、その後年長らしい経験を積み重ねている。</p> <p>▲<u>食事を友達と楽しく食べる経験は少ない。</u></p> <p>▲歌をみんなで楽しく歌う経験はあまりできていない。楽器は打楽器のみ経験。</p> <p>▲保育者がマスクをしていることで、言葉の聞き取りにくさがあり、言葉の獲得の面では影響があるかもしれない。</p> <p>▲積み重ねが少ない分、制作、運動面で苦手意識をもちやすい様子も見られる。</p> <p>▲自家用車での送迎が多くなり、体力のない子が増えている。</p> <p>【その他】</p> <p>○可能な範囲で、栽培や収穫を体験し、気付いたことを伝え合う経験ができた。</p> <p>○時計を見て遊びの終わりに気付き、次の活動に意識を向けようとする。</p>	<p>日常生活で補うようにはしているが、例年の経験はできていない。</p> <p>▲友達同士の触れ合いや会話が減った。</p> <p>▲「コロナだから…」と諦めがよすぎるところがある。</p> <p>▲マスクをしていることで、互いの考えが聞き取りにくいことがある。</p> <p>【その他】</p> <p>○いろいろな活動を通して、友達と協力し合う経験を重ねることはできた。</p> <p>○友達とイメージを共有し、一つのものを作りだそうとする様子が増えた。</p> <p>○友達の様子に刺激を受けて自分の発想を広げ、実現しようとする姿が見られる。</p> <p>○イメージしたものの実現に向けて、場、物、素材などを工夫して使おうとしたり試行錯誤したりするようになった。</p> <p>○作ったものや表現を見てもらうことで、自信や表現する楽しさにつながっていた。</p> <p>○表現活動では、友達同士で息を合わせるタイミングを考えたりするようになった。</p> <p>▲YouTube 等から得る情報が多い。絵本などの空想の世界を楽しむ経験を意識していく必要がある。</p>	<p>あり、それによって登園を渋る子もいた。</p> <p>▲園外に出かけることが減り、地域との関りや季節の変化などを生かしたり共有したりすることが難しかった。</p> <p>▲家庭で過ごすことが増えた子は、保護者がストレスを抱え、不安定になるケースも見られた。</p> <p>▲<u>年下の子たちとの関りを深められず、自己抑制力や思いやりの気持ちが育ちにくい面もあった。</u></p> <p>▲<u>年長児としての活躍の場が少なく、代替の取組を工夫したが例年より年長者としての満足感は少ない傾向にある。</u></p> <p>▲小学校との交流や連携の機会をもてず、子どもたちの期待感や安心感につなげにくかった。</p> <p>【その他】</p> <p>○子ども同士のケンカや意見の対立の場面を生かし、自分たちで折り合いをつける経験を重ねた。</p> <p>○<u>学級みんなの目的や課題に向かって、どうしたら実現するか考えを出し合い、達成感を味わう経験を大切にした。</u></p> <p>○行事等同じ目的に向かう中で、集団の難しさを感じながらも乗り越え、充実感などを味わう経験ができた。</p> <p>○気温の変化に気付き、氷の出来具合や溶ける気温を調べようとするなど、探求心が高まっている。</p>
--	--	---

※園の取組や地域、家庭などの状況により、個々に現れる特徴は様々ですが、各園の情報を基に傾向としてまとめたものです。